

◆第3回研究会 (2021年11月30日)

「2050年のありたい姿」を実現するための、①演繹的思考と②帰納的思考による事業アイデアを考え、発表・議論を行いました。
良くて強い組織づくりにおいて重要な、また日本企業において取組が遅れているとされるダイバーシティ&インクルージョンについても理解を深めました。

●各社からの発表及び意見交換 …145分

①演繹的思考による事業アイデア	②帰納的思考による事業アイデア
1. 限りある天然資源に代替素材の探索と製造等	1. 原材料の活用効率を上げる革新的な製造方法の開発等
2. グリーン水素製造、めっきラインからの水素製造、小水力発電等	2. 遊休地への太陽光発電導入、ヒートポンプ導入等
3. 各地域に適した「有機肥料」開発と全国展開等	3. 電動化製品、無人化製品等
4. 先端生産設備開発支援、先端ものづくり支援等	4. バイオ・創薬製造自動化、遠隔医療、宇宙配送電等
5. DAC (Direct Air Capture)、大気中湿分からの飲料水確保	5. 排ガスからのCO2分離回収技術の商品化等
6. 船舶の自動化機器、脱炭素燃料関連機器、周辺地域との連携	6. マルチマテリアルものづくり、水素分野向け銅合金鋳物加工部品製造等
7. 社会的な課題を解決する人材を持続的に輩出事業等	7. 健康経営ソリューションの提供による活力のある企業の創造、支援等
8. 産学連携による次世代型製品の開発と活用等	8. 多目的汎用車体である冷凍ウィングの普及と進化
9. 月における基地建設、地質探査等	9. 無人化施工機械製造、遠隔操作等



●プレゼンテーション SDGパートナーズ(有) 田瀬代表 …40分

「ダイバーシティとインクルージョン：良くて強い組織作り」

- **ダイバーシティ (多様性) & インクルージョン (包摂) とは**
様々な差異を持つ社員が自分らしくいられる職場をつくり、かつその差異・個性を企業のアドバンテージとして戦略的に精鋭化し、生かすための企業のミッション・戦略・施策を指す。
- D&Iの推進においては、権利性と経済合理性の両面を理解する必要があり、片方のみからのアプローチは適切ではない。また、日本においてはD&Iの「経済合理性」さえ、経営者に腹落ちしてもらうのに大いに苦労する現状がある。
- 「異なる」ことが「他を尊重する個人」をどんどん鍛えていく（優しく厳しい競争環境）ことで、同じ目標に向けて強い組織となるという事が多様性が「良い組織・強い組織」の基盤である理由ではないか。
- 特に日本においてD&Iを導入するには、**衡平**（異なる人には異なる措置があるべき）という概念が必要であり、「衡平」という概念を理解し実践するには、まず経営層をはじめとする管理職に認識を大きく変えていただく必要がある。